



令和8年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和7年11月12日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
コード番号 9664 URL <http://www.misonoza.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 宮崎敏明
問合せ先責任者（役職名） 執行役員総務経理部長（氏名） 大山桂司（TEL）(052) 222-8202
半期報告書提出予定日 令和7年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 令和8年3月期第2四半期（中間期）の業績（令和7年4月1日～令和7年9月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期中間期	1,586	9.0	83	—	80	—	67	—
7年3月期中間期	1,454	△15.3	△83	—	△85	—	△58	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期中間期	13.59	—
7年3月期中間期	△11.84	—

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
8年3月期中間期	5,966		4,570		76.6
7年3月期	5,785		4,497		77.7

（参考）自己資本 8年3月期中間期 4,570百万円 7年3月期 4,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期	—	—	—	0.00	0.00
8年3月期	—	—	—	—	—
8年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の業績予想（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,820	111.4	120	—	110	—	100	—	20.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

8年3月期中間期	4,984,500株	7年3月期	4,984,500株
8年3月期中間期	5,294株	7年3月期	5,294株
8年3月期中間期	4,979,206株	7年3月期中間期	4,979,206株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善により個人消費が増加したことで、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社におきましては、お客様と公演関係者の安心・安全を最優先に考え、安心してご来場いただけるよう努め、その中で引き続きお客様の嗜好に合わせた公演の実現、観客動員の維持も図りながら、注意深く上演しております。

今後につきましても、感染防止を徹底し、公演数及び観客動員の拡大を図りながら、お客様に喜んで頂ける公演を増加させていく予定であります。

当社は、以下の通り、令和7年4月から9月までに公演を15種類、上演日数として96日間、上演回数として129回(前年同期120回)の実施を致しました。公演中止もなく、予定していた公演すべて順調に上演することができました。

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
市川團十郎特別公演	4月11日～13日	3日	4回
IMPACT	5月1日～25日	25日	34回
吉本新喜劇&バラエティショー	5月30日	1日	1回
ミキ漫2025全国ツアー愛知公演	5月31日	1日	1回
ダンスオブヴァンパイア	6月7日～15日	9日	12回
二都物語	6月21日～29日	9日	12回
山内恵介コンサートツアー2025	7月5日～6日	2日	3回
シンフォニー朗読劇 ベートーヴェン～魂の交響曲～	7月12日～13日	2日	2回
山里亮太の140 愛知公演 ～山里流桶狭間の戦い～	7月18日	1日	1回
夏休み!スペシャル 辻本茂雄還暦特別公演記念ツアー	7月22日～27日	6日	11回
宝塚歌劇 雪組公演 ミュージカル『An American in Paris』	8月14日～9月4日	22日	27回
鶴瓶御園座独演会	9月6日～7日	2日	2回
舟木一夫コンサート2025	9月11日～15日	5日	5回
芸道生活50周年 細川たかし&吉本新喜劇	9月17日～21日	5日	10回
あの夏、君と出会えて～幻の甲子園で見た景色～	9月26日～28日	3日	4回
合計		96日	129回

<当中間会計期間の上演実施作品>

(上演日数には休演日も含みます)

〈公演中止となった当中間会計期間の上演予定作品〉

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
該当なし		—	—
合計		—	—

この結果、当中間会計期間の売上高は、15億8千6百万円（前年同期は14億5千4百万円）となりました。売上高は増加し、利益面では、営業利益8千3百万円（前年同期は営業損失8千3百万円）、経常利益8千万円（前年同期は経常損失8千5百万円）、中間純利益6千7百万円（前年同期は中間純損失5千8百万円）となりました。なお、当中間会計期間に予定していた公演をすべて順調に上演できましたので、公演中止に伴う特別損失はございません。

当社の報告セグメントは劇場事業単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。当中間会計期間における財政状態の状況は、以下の通りであります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間会計期間末における流動資産の残高は、13億2千8百万円となり、前事業年度末に比べ2億9千5百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億2千7百万円増加、未収還付法人税等が2千1百万円、未収消費税等が2千8百万円減少したことによるものであります。固定資産の残高は、46億3千7百万円となり、前事業年度末に比べ1億1千4百万円の減少となりました。この主な要因は、建物及び構築物が6千1百万円、機械及び装置が4千5百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、59億6千6百万円となり、前事業年度末に比べ1億8千万円の増加となりました。

(負債の部)

当中間会計期間末における流動負債の残高は、7億7千万円となり、前事業年度末に比べ2億1千3百万円の増加となりました。この主な要因は、買掛金が1億6千万円の増加、前受金が2千7百万円増加、その他が2千1百万円増加したことによるものであります。固定負債の残高は、6億2千5百万円となり、前事業年度末に比べ1億5百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が1億4百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、13億9千6百万円となり、前事業年度末に比べ1億8百万円の増加となりました。

(純資産の部)

当中間会計期間末における純資産の残高は、45億7千万円となり、前事業年度末に比べ7千2百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が6千7百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて3億2千7百万円増加し、11億2千7百万円となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億3千4百万円の収入（前年同期は2億2百万円の支出）となりました。これは、主に税引前中間純利益8千万円、減価償却費1億1千9百万円、仕入債務の増減額1億6千万円、未払又は未収消費税等の増減4千9百万円、前受金の増加2千7百万円、法人税等の還付額1千8百万円によるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の収入(前年同期は0百万円の支出)となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億6百万円の支出(前年同期は1億4百万円の支出)となりました。
これは主に、長期借入金の返済による支出1億4百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は本日業績予想を修正しております。詳細は本日発表いたしました「令和8年3月期業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当中間会計期間 (令和7年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	829,636	1,157,581
売掛金	136,957	130,074
貯蔵品	877	3,291
未収還付法人税等	21,215	-
未収消費税等	28,171	-
その他	16,197	38,002
流動資産合計	1,033,056	1,328,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,103,661	2,042,579
機械及び装置(純額)	357,041	311,547
土地	2,123,768	2,123,768
その他	86,610	73,943
有形固定資産合計	4,671,082	4,551,839
無形固定資産	6,084	5,440
投資その他の資産		
投資有価証券	65,268	72,602
その他	10,729	8,287
貸倒引当金	△739	△739
投資その他の資産合計	75,259	80,151
固定資産合計	4,752,427	4,637,431
資産合計	5,785,483	5,966,381

(単位:千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当中間会計期間 (令和7年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,478	328,899
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払金	32,314	21,652
未払法人税等	11,644	26,344
前受金	121,242	148,816
賞与引当金	2,000	2,000
その他	11,474	33,270
流動負債合計	557,154	770,983
固定負債		
長期借入金	437,501	332,503
繰延税金負債	272,508	273,147
退職給付引当金	7,689	8,021
その他	12,978	11,345
固定負債合計	730,677	625,016
負債合計	1,287,831	1,396,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金	2,137,621	2,137,621
利益剰余金	94,534	162,239
自己株式	△39,994	△39,994
株主資本合計	4,464,099	4,531,803
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,553	38,576
評価・換算差額等合計	33,553	38,576
純資産合計	4,497,652	4,570,380
負債純資産合計	5,785,483	5,966,381

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日)
売上高	1,454,964	1,586,849
売上原価	1,227,187	1,203,675
売上総利益	227,776	383,173
販売費及び一般管理費	311,583	300,135
営業利益又は営業損失(△)	△83,806	83,038
営業外収益		
受取配当金	1,529	1,672
その他	2,081	1,496
営業外収益合計	3,610	3,168
営業外費用		
支払利息	5,165	5,547
その他	520	500
営業外費用合計	5,686	6,047
経常利益又は経常損失(△)	△85,882	80,160
特別利益		
固定資産売却益	3,247	-
特別利益合計	3,247	-
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△82,634	80,160
法人税、住民税及び事業税	787	14,127
法人税等調整額	△24,443	△1,671
法人税等合計	△23,656	12,455
中間純利益又は中間純損失(△)	△58,978	67,704

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△82,634	80,160
減価償却費	117,703	119,887
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△404	332
受取利息及び受取配当金	△1,579	△2,050
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,247	-
支払利息	5,165	5,547
売上債権の増減額(△は増加)	△34,554	6,882
棚卸資産の増減額(△は増加)	17	△2,413
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,952	160,421
未払又は未収消費税等の増減額	△56,348	49,717
前受金の増減額(△は減少)	△53,455	27,574
その他	△31,862	△26,211
小計	△159,153	419,846
利息及び配当金の受取額	1,579	2,050
利息の支払額	△5,217	△5,549
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△39,940	18,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	△202,732	434,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,350	-
有形固定資産の売却による収入	4,377	-
その他	△254	△254
投資活動によるキャッシュ・フロー	772	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100,000	△104,998
リース債務の返済による支出	△4,445	△1,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,445	△106,631
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△306,405	327,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,081,874	799,636
現金及び現金同等物の中間期末残高	775,469	1,127,581

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は劇場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。